



浜北医師会会報 (第500号)

発行：一般社団法人浜松市浜北医師会

令和7年12月15日

目 次

祝 医師会報第500号記念

I : 行事（予定）

II : 理事会報告

III : 出張報告



祝 第500号！！ 花に囲まれて

石井るみ子 画



© dsk

医師会報 第 500 号記念

浜北医師会会報 500 号に寄せて

昭和 56 年 4 月、社団法人浜北市医師会が設立され、初代会長・三橋寛七先生のもと第 1 号が発行されて以来、今日まで浜北医師会会報は会員の皆様にとって貴重な情報源として、また交流の場として親しまれてきました。第 1 号が藁半紙 1 枚の理事会報告から始まったことを思うと、500 号という節目を迎え、改めて歴史を感じると共に、深い感慨を抱いております。

これまで会報の発行に携わってくださった先輩方、そして会員の皆様に心より感謝申し上げます。会報の節目ごとに、当時のさまざまな出来事が思い出されます。平成 4 年 8 月には第 100 号が発行され、新規開業の横田直也先生と大嶋正浩先生が紹介されました。平成 6 年 4 月からは高倉信孝先生が会長に就任され、長きにわたり会報にご寄稿いただいた「理事会だより」は会員の皆様に大変親しまれ、私も毎号楽しみにしておりましたことを思い出します。信孝先生の温かく、時にはユーモアを交えたお言葉が、会員の心をつかんでいたことは、今でも鮮明に記憶に残っています。

また、平成 12 年 12 月には第 200 号が発行され、村尾矩子先生のヨーロッパ旅行記が掲載されるなど、会報は常に会員の皆様にとって有益で楽しい内容を提供してきました。平成 11 年 5 月から平成 27 年 9 月まで、鈴木茂治先生が表紙の絵を手がけてくださいり、会報に彩りを添えていただきました。

平成 13 年 4 月からは月花亮先生が会長に、平成 16 年 4 月からは坂尾正先生が会長に就任されました。平成 17 年 7 月には市町村合併に伴い「浜北市医師会」から「浜北医師会」へ、平成 21 年 4 月には第 300 号が発行されました。そして平成 25 年 4 月には「浜松市浜北医師会」として一般社団法人化されました。これらの時代の変化を見つめつつ、会報もまた進化を遂げてまいりました。

平成 26 年 5 月からは高倉英博先生が会長に就任され、平成 29 年 8 月には第 400 号が発行され現在に至るまで伝統を脈々と受け継がれてきました。また、平成 28 年 10 月からは、石井るみ子先生が表紙の絵を手掛けてくださいり、会報に一層の華やかさを添えてくださっております。

そして、令和 2 年 6 月より、私、岸本が会長を務めさせていただいております。この度、500 号という記念すべき節目に立ち会えたことに、心からの感謝とともに責任の重さを感じております。これからも、会員の皆様に迅速かつ分かりやすい情報を届けし、楽しんでいただける会報作りに努めてまいります。また事務局長をはじめ、事務局次長、スタッフ一同とともに、一丸となり一層の発展に努めてまいります。

医療行政を取り巻く環境がより一層厳しくなる中で、会員の皆様のご協力とご支援が、私たち浜松市浜北医師会の活動を支える力となります。今後とも、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会報 500 号の発行にあたり、皆様と共にこの節目を迎えることを、心より感謝申し上げます。

令和 7 年 12 月吉日

浜松市浜北医師会 会長 岸本 肇

歴代会長からお言葉をいただきました

第3代会長 月花 亮

この度の医師会報 500 号発刊、おめでとうございます。

昭和 56 年 4 月 1 日、浜北市医師会が発足し、それに伴い会員に医師会の動向や通知事項を知らしめるべく、《理事会通信》を発行することとなりました。

最初のうちは、会員が原稿を書き、謄写版で印刷し会員に配っていました。そのうち会員や情報の増加に伴い冊子にする事になり、編集委員会が設けられました。

故人になられた竹内勤先生や上野幹先生のお宅に伺って、毎月、委員会を開いていました（30 代後半だった私も末席に）。会が終わると食事会！！千歳や原島にあったステーキハウスに行ったりして、毎月が楽しみでした。

現在は、事務局の人数が増員され、パソコンを使いきれいなプリントも出来ることから、編集、印刷、製本とすべて事務局で作成されているそうで、初期と比べ隔日の感があります。部数も会員増で 30 数部から 120 数部（メールが 50～60 件位有るそうです）に増えているようです。近い将来はメールが主体となり、紙は無くなるのでしょうか…

これから医師会がどのように変わっていくのか分かりませんが、いつまでもこの会報は残っていって欲しいと思います。

第5代会長 高倉英博

浜松市浜北医師会会報 500 号を迎えること、誠におめでとうございます。

創刊以来、地域医療の発展を願いながら会員相互の連携を深め、行政・医療機関・地域住民の皆様との懸け橋として大きな役割を果たしてきた歩みは、まさに医師会の歴史そのものです。

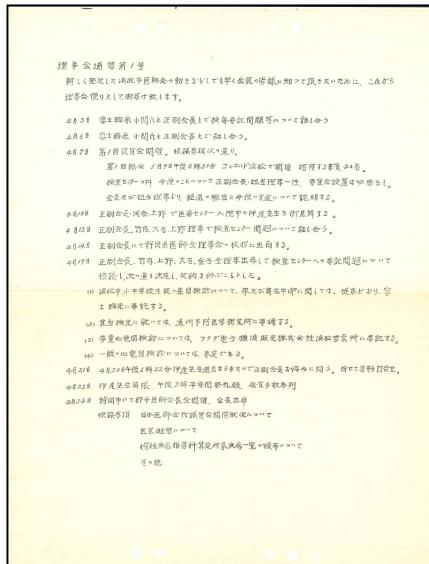
今、改めて以前の会報を読み返すと、幾多の社会情勢や医療環境の変化を乗りこえながら先輩方の熱意や努力によって現在の基盤が築かれてきたことを実感いたします。その精神を受け継ぎ、今後も地域に貢献し続けていくことを願ってやみません。

500 号の節目を新たな原動力として、浜松市浜北医師会がより一層地域に寄り添い、信頼される医療を提供し続けられることを心より祈念し、お祝いの言葉といたします。



医師会報第 500 号までの変遷

第 1 号



昭和 56 年 4 月 社団法人浜北市医師会設立

三橋寛七会長

昭和 56 年 4 月 1 日～平成 6 年 3 月 31 日

昭和 56 年 5 月 発行 三橋寛七会長

「理事会通信」と題し、藁半紙 1 枚で理事会報告が主な内容だった

この年の 4 月より、沼地内の浜北市保健センター内に事務所が設置された

第 100 号

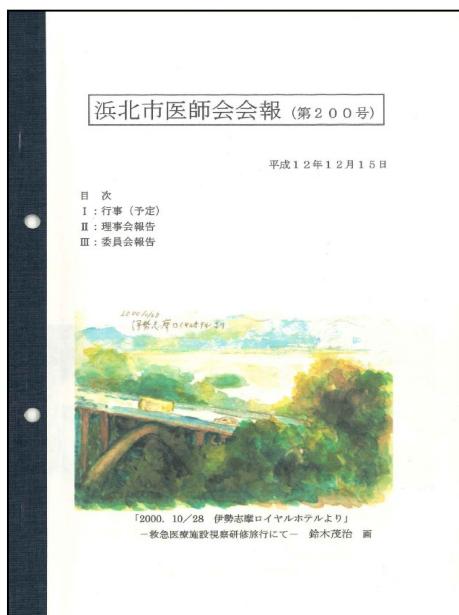
平成 4 年 8 月 発行 三橋寛七会長
行事予定、理事会報告、出張報告の構成

横田直也先生の開業、大嶋正浩先生の新規開業が議題であった

高倉信孝会長

平成 6 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日

第 200 号



浜北市医師会会報 (第 100 号)	
平成 4 年 8 月 15 日	
目次	
I : 行事 (予定)	
II : 理事会報告	
III : 出張報告	
I : 行事 (予定)	
8 月 行事 (予定)	
8 月 2 日	日医生涯教育講座 (第 1 日目) 於 県医師会館
8 月 4 日	対がん協会総会 於 城医師会館 (三橋会長出席)
8 月 5 日	定期理事会及び開業説明会 於 保健センター 診療報酬明細書提出受付 於 リ
8 月 19 日	西遠地区急重症懇談会 於 嬉の (三橋会長、高倉副会長出席)
8 月 20 日	成人病検診委員会 於 保健センター
8 月 20 日	都市医師会協議会他 於 県医師会館 (三橋会長出席)
8 月 22 日	救急医療装置研修会 於 三島市 (村上 勝会員出席)
8 月 23 日	日医生涯教育講座 (第 2 日目) 於 県医師会館
8 月 26 日	第 41 回西部地区自動車保険医療連絡協議会 於 ホテル・コンコルド (金子 孝会員出席)

平成 12 年 12 月 発行 高倉信孝会長

表紙は鈴木茂治先生の絵画

鈴木茂治先生の絵画は平成 11 年 5 月より平成 27 年 9 月まで表紙を彩られた

行事 (予定)、理事会報告、委員会報告の構成

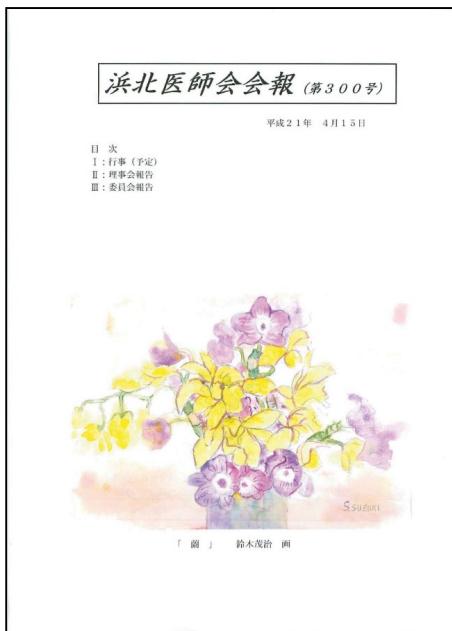
この年まで開催されていた麻雀大会が、参加者減少により 12 年度で終了となった

村尾矩子先生がヨーロッパ旅行記を寄稿

月花亮会長

平成 13 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日

第 300 号



坂尾正会長

平成 16 年 4 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日

平成 21 年 4 月 発行 坂尾 正会長

行事（予定）、理事会報告、委員会報告の構成

（平成 17 年 7 月市町村合併により浜北市医師会から浜北医師会に改称した）

会報 300 号記念として坂尾正会長のことばや記念の年（平成 20 年度）の行事写真が多用されていた平成 20 年度浜松市医療奨励賞受賞の記事が掲載された（塩谷尚先生代表）

平成 25 年 4 月 浜松市浜北医師会名称変更

高倉英博会長

第 400 号

平成 29 年 8 月 発行 高倉英博会長
行事（予定）、理事会報告、委員会報告の構成

8 月 5 日に坂尾正前会長がご逝去され高倉英博先生の弔辞を掲載した

表紙は石井るみ子先生の絵画

石井るみ子先生の絵画は平成 28 年 10 月より現在まで表紙を彩られている

岸本肇会長

令和 2 年 6 月 13 日～現在に至る

第 500 号 令和 7 年 12 月 発行 祝

★ 「理事会だより」の執筆 ～その月の理事会の様子やトピックス等の報告～

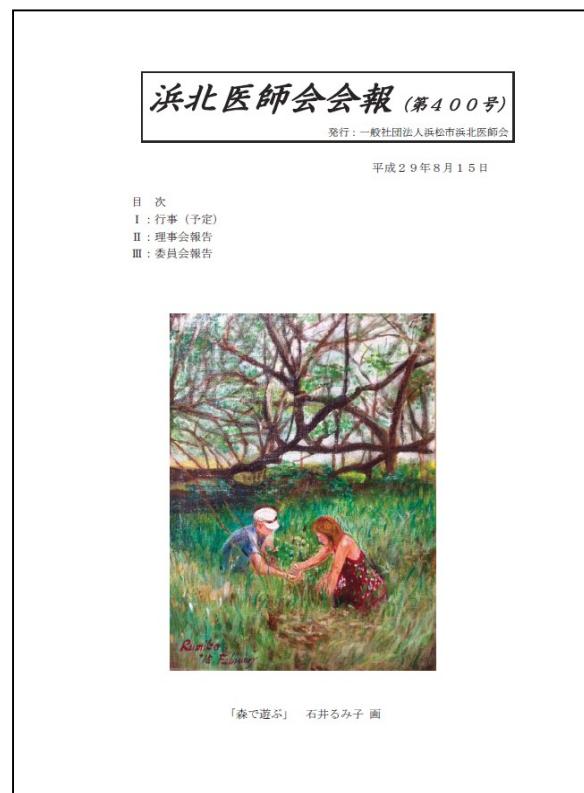
平成 11 年 4 月号～平成 12 年 9 月号 高倉信孝会長

平成 12 年 10 月号～平成 23 年 12 月号 坂尾正会長

平成 24 年 1 月～平成 24 年 6 月号 高倉英博副会長（当時）

高倉英博会長

平成 26 年 5 月 1 日～令和 2 年 6 月 13 日



I : 行事（予定）

12月 3日 定例理事会	於：医師会会議室
7日 産業医研修会（サテライト会場）	於：医師会会議室
15日 訪問看護ステーションと医師会員との 合同忘年会	於：グランドホテル浜松
17日 新規個別指導	於：静岡県総合庁舎
17日 予算委員会	於：医師会会議室
18日 郡市医師会長会	於：県医師会館
25日 浜名区協議会	於：なゆた浜北
26日 医師会事務局 仕事納め	
1月 5日 医師会事務局 仕事始め	
15日 医師会・センター(合同医局)新年懇親会	於：オーディトリアム浜松
17日 多職種交流会	於：ビラックス高蔵
17日 移動理事会	於：鈴松庵

II : 理事会報告

日 時 令和7年12月3日（水）午後7時30分～午後9時15分
場 所 医師会会議室
出席者 岸本 肇会長 杉本昌宏副会長 坂尾幸俊理事 桜町俊二理事 大嶋正浩理事
廣 建志理事 俵原 敬理事 大村久美子監事
オブザーバー 高倉英博県理事

1. 会長 あいさつ

定款第37条第2項の規定により岸本会長が招集し、岸本会長が議長となった。

2. 協議事項

(1) 5歳児健康診査事業について、浜松市健康増進課 田辺専門監、高柳技監から説明があった。今年度の実施状況と今後の実施計画について報告があった。令和8年度は以下のとおり実施する予定。

①所属園による集団健康診査：1,600人程度

- ・令和7年度モデル実施9園は継続実施。
- ・園に希望調査などを実施し、公立幼稚園・保育所を含め、決定していく

②児童発達支援センター：6施設 100人程度

③未就園児を対象に保健センター等で実施する集団健康診査 7回 270人程度

- ・保健所：5回 浜北保健センター2回

・医師従事時間：13時半～15時（1時間半） 医師2名体制 1人：25人

また、③の浜北保健センターで実施する健康診査において従事する医師について協力依頼があった。協議の結果了承した。

(2) 予防接種事業について、浜松市健康増進課 田辺専門監、鈴木副主幹から説明があった。

令和8年度の予算事業について、下記のとおり変更される。

- ① RS ウイルスワクチンが新規に定期接種に位置づけられる。（接種開始 R8.4.1～）
- ② HPVワクチンについて、2価、4価ワクチンがR8.4.1以降除外され9価ワクチンのみが対象となる。
- ③ インフルエンザワクチンについて、現状のインフルエンザワクチンに加え、高用量インフルエンザ HA ワクチン（対象者：75歳以上）が対象となる。（接種開始 R8.10.1～）

協議の結果了承した。

(3) 令和8年度浜名区（旧浜北区）幼児集団健康診査の実施について、浜松市健康づくりセンター坂本所長、浅風グループ長から説明があった。協議の結果了承した。

(4) 令和8年度浜松市浜北医師会定時総会の日程について、岸本会長から説明があった。協議の結果、次のとおり決定した。

○定時総会・臨時理事会

令和8年6月13日（土）

(5) 令和8年度校医・園医の選任について、廣理事から説明があった。来年度の校医・園医の配置について協議の結果、次のとおりとしたこととした。

【内科等】

- ・浜名小学校：金子重久 → 金子 望
- ・赤佐小学校：杉山榮治 → 清水賢司
主任校医 杉山榮治 → 吉田毅
- ・内野小学校：田所 茂 → 金城健一
- ・北浜北幼稚園：杉山榮治 → 佐藤悠紀

【眼科】

- ・内野小学校：鈴木 敬 → 内山真也
- ・北浜北小学校：内山真也 → 鈴木 敬

(6) 事務局職員の冬季賞与の支給について、杉本副会長から説明があり、協議の結果、規則どおりの算出方法により支給することを了承した。

3. その他

- (1) 委員会報告（開業相談委員会）について、報告があった。
- (2) 廃止届（まぶち整形外科）について、報告があった。
- (3) 出張復命書（産業廃棄物監視機構）について、報告があった。
- (4) 令和7年度年末年始における発熱外来について、報告があった。
- (5) 災害時における事務職員の体制について、浜松政令市医師会の職員に協力いただくことについて了承した。

4. 報告事項

岸本 肇 会長

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
13日 地域医療支援協議会	浜松医療センター
13日 ケアマネ研修会	医師会会議室
15日 忘年会	ホテルクラウンパレス浜松
19日 勉強会 「エビデンスに基づいた不眠症に対する薬物治療」 ハイブリッド方式	
26日 医師信用組合理事会	県医師会館
29日 市民公開講座	プラザホテル
12月 3日 定例理事会	医師会会議室

杉本 昌宏 副会長

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
13日 ケアマネ研修会	医師会会議室
15日 忘年会	ホテルクラウンパレス浜松
29日 市民公開講座	プラザホテル
12月 3日 定例理事会	医師会会議室

坂尾 幸俊 理事

11月次収支報告	
当月収入総額	43,897,637 円
当月支出総額	39,862,487 円
収支差額	4,035,150 円

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
15日 忘年会	ホテルクラウンパレス浜松
26日 開業相談委員会	医師会会議室
28日 浜松市がん検診事業検討会	浜松市保健所
12月 3日 定例理事会	医師会会議室

櫻町 俊二 理事

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
13日 ケアマネ研修会	医師会会議室
15日 忘年会	ホテルクラウンパレス浜松
19日 勉強会 「エビデンスに基づいた不眠症に対する薬物治療」	ハイブリッド方式
26日 開業相談委員会	医師会会議室
29日 市民公開講座	プラザホテル
12月 3日 定例理事会	医師会会議室

大嶋 正浩 理事

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
19日 勉強会	
	「エビデンスに基づいた不眠症に対する薬物治療」 ハイブリッド方式
30日 赤ちゃんフォトコンテスト	プロ葉ウォーク浜北
12月 3日 定例理事会	医師会会議室

廣 建志 理事

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
13日 ケアマネ研修会	医師会会議室
15日 忘年会	ホテルクラウンパレス浜松
19日 勉強会	
	「エビデンスに基づいた不眠症に対する薬物治療」 ハイブリッド方式
26日 開業相談委員会	医師会会議室
12月 3日 定例理事会	医師会会議室

俵原 敬 理事

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
12月 3日 定例理事会	医師会会議室

近藤 りえ子 理事

11月 5日 定例理事会	医師会会議室
15日 忘年会	ホテルクラウンパレス浜松

次回会議の予定 移動理事会 令和8年1月17日（土） 午後5時30分 於：未定※
※その後、鈴松庵で実施が決定。

以上の議事を終了し、午後9時15分閉会した。

会務報告

内 容	会場・開催方式	出席者（敬称略）
11月 5日 定例理事会	医師会会議室	理事、池谷監事、高倉
6日 地域医療支援病院運営委員会	浜松赤十字病院	代理大塚
13日 地域医療支援協議会	浜松医療センター	岸本
13日 ケアマネ研修会	医師会会議室	岸本、金子望、櫻町、廣、平野、大村、池谷、杉本、鈴鹿、板倉、中川、聞間
15日 医師会忘年会	ホテルクラウンパレス浜松	会員
19日 勉強会「エビデンスに基づいた不眠症に対する薬物治療」	ハイブリッド方式	会員
26日 開業相談委員会	医師会会議室	岡田、坂尾、中川、廣、櫻町、平野、大和谷
27日 浜名区協議会	なゆた浜北	中川
28日 浜松市がん検診事業検討会	浜松市保健所	坂尾
29日 市民公開講座	はまきたプラザホテル	大村、岸本、杉本、櫻町
30日 赤ちゃんフォトコンテスト	プレ葉ウォーク浜北	高倉、大嶋
12月 3日 定例理事会	医師会会議室	理事、大村監事、高倉

III : 出張報告

出張復命書		
出張帰着年月日	令和7年11月21日(金) 出発	令和7年11月21日(金) 帰着
出張場所	浜松市常磐町 寿司 かん八	
出張用件	第92回 産業廃棄物監視機構 役員会	
会議の状況等	<p>今回を一応の最後の役員会として開催されました。</p> <p>浜北医師会はこの会の発足の1年後 2005年からの参加だと思います。私、石井廣重が医師会副会長の時期に磐田市で産業廃棄物の事件があり、浜北で起こらないようにするためにはどうしたらよいか、と考え私がこの役員会に参加するようになりました。約20年間、浜北医師会の産業廃棄物担当の理事は変わっていきましたが私は今回、最終の第92回にも参加でき約20年の仕事でした。</p> <p>産業廃棄物に関しては昨今ではフッ素のこと、水銀血圧計や体温計、蛍光灯の水銀問題など、まだまだ今後問題となるかもしれません。</p> <p>どうぞ皆さま 気を抜かないでしっかりと監視をしてゆくことが必要です。</p>	

上記のとおり復命します。

令和7年11月21日

出張者氏名 石井 廣重



産廃監視機構20年の歩み

1. はじめに（目的と背景）

2003年に県西部（磐田市及び磐周医師会）の開業医37人が感染性医療廃棄物の処分を適正に行なわなかったとして県警に摘発される事件が起きました。いわゆる「サカイ商事事件」です。医道審議会からは行政指導の「戒告」という処分となりました。

医療機関からでた感染性廃棄物は、収集運搬、中間処理（焼却など）、最終処分（埋め立て）を経て、適切に処理されていますが、この際、医療機関はマニュフェストを交付し、最後まで自院から出た産業廃棄物（感染性廃棄物等）が適正に処理されたか見届ける義務があります（1993年より）。このことは今では常識なのですが、当時はお金を支払って自院のごみを処理させてるので、あとは業者に任せてその先のことは知らないという開業医がほとんどであったと思います。紙マニュフェストもありましたが、単なる領収書や受取書のようなものとの認識の開業医もいたかもしれません。2002年サカイ商事は経営悪化のため、無許可でサカイ商事敷地内に感染性廃棄物を長期保管した上、その後やはり無許可で県外に運搬したとして逮捕されました。その後サカイ商事を利用していた37医療機関も摘発され、警察で取り調べを受け、数万円から約30万円の罰金を支払うことになりました。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」第3条では、事業者（医療機関を含む）は、自らの事業活動に伴って生じた廃棄物を、自らの責任において適正に処理しなければならないと明記されています。さらに2007年に静岡県の条例として、排出事業者が廃棄物の処理を依頼する場合に実地確認（収集運搬業者、中間処理施設、最終処分場等）が義務化されました。

2004年、二度とこのような事件に医療機関が巻き込まれることがないよう、磐周医師会の石坂恭一理事が近隣の医師会に呼び掛けて「産廃監視機構」を立ち上げ、事件の発生原因解明、対策について検討してきました。2005年静岡県医師会でもこの事件を契機に静岡県医療廃棄物適正処理推進協議会が立ち上がりましたが、産廃監視機構はそれに先駆けて独自に実態の調査を進めていきました。

2. 活動内容の概要

まず行った活動は、各医療機関から出る感染性廃棄物、廃プラ、現像液等の処分をどの業者を利用しているかアンケート調査を行いました。磐周、磐田市、小笠でのアンケート調査で、アンケートの回収率91.9%（274医療機関中227件が回答）が得られました。感染性廃棄物と廃プラはほぼ同一の業者が扱っており、3医師会では16の業者がいることが判明しました。現像液はアサヒプリテックの利用がほとんどで、デジタル化に伴い、現像液等の排出が減少している状況も判明しました。このことからその後の医療機関に対するアンケート調査は感染性廃棄物の収集運搬業者に絞ってシンプルなものにして、アンケート回収率はほぼ100%となりました。また収集運搬業者にもアンケートを行い、利用している中間処理業者、最終処分場、対応できる産廃の種類、平均的な処理価格なども調査しました。さらに中間処理業者にもアンケート調査を行い、収集運搬業者との関係性や課題なども調査しました。これらの調査結果を分析し、医師会会員の先生には結果を報告してきました。また医療機関から出るゴミの種類

(感染性、非感染性、一般廃棄物、資源ごみ) の管理方法や廃棄方法、マニュフェストの見方などを医師会会員の先生には必要と思われる情報を提供してきました。

3. その後の経過

最初は磐周医師会・磐田市医師会・小笠医師会の担当役員で検討していましたが、翌年からは浜北医師会、引佐医師会、浜名医師会、浜松市医師会も加わり活動してきました。

(表1. 参照)

こうして、医療機関（排出業者）から収集運搬業者、中間処理業者そして最終処分業者に至るルートを把握しました

その上で各収集運搬業者に対し個別面談を行い、詳細な事業内容と彼らが抱えている問題点を検討してきました。この会議を通じて明らかになったことは、収集運搬に係る価格に差があるものの、ある程度の適正価格があり、安すぎる業者は注意が必要であること、紙マニュフェストは不適切な処理の温床になりうること、収集運搬業者にもいろいろと格差（電子化対応を積極的な業者と全く対応する気のない業者など）があること、各エリアでシェアの多い業者の分布に違いがあることなどでした。2006年頃の会議では、電子マニュフェストの使用は望ましいが、まだまだハードルが高く、不法投棄などが起こらないようにするにはどうしたらいいか検討をしていました。

そんな折、2008年4月から静岡県医師会（当時鈴木勝彦先生が会長）が静岡県医師会電子マニフェスト管理システムをスタートさせました。これは、従来の紙マニュフェストではなく、電子マニフェストを利用して産廃を管理するシステムです。建設業界などでは、大量の廃棄物の管理のため電子化が進んでいましたが、医療業界では電子化はほとんど進んでいませんでした。そこで静岡県医師会はパソコンがなくても電子マニフェストが運用できるシステム（NPO法人エコテクルを利用し、医療機関は無料で産廃処理の電子化ができるシステム）を立ち上げ普及をすすめるようになりました。このシステムのメリットは、①マニュフェストの管理が簡便になる②電子化で不法投棄の予防になる③静岡県医師協同組合が現地視察を代行してくれるなどがあり、デメリットはコストが少し上がる場合があることです（ただし、紙と同じ価格の業者もありますし、現地視察を省略できるならトータルでコストは下がります）。

そこで我々産廃監視機構も、静岡県医師会電子マニフェスト管理システムの普及に努めるとともに、普及率の調査、収集運搬業者への聞き取り調査の継続（電子化しない医療機関はなぜ電子化をしないのか？価格はどうか？など）を行ってきました。小笠医師会は大相が収集運搬業者のシェアNo1でしたが、電子化しない方針であったこと、一度業務停止を受けたことがあることから、小笠医師会の理事から小笠医師会の会員の先生には他の業者をお勧めすることになりました。

産廃監視機構ではアンケート調査とその分析だけではなく、産廃の不法投棄の事例や、ダイオキシン、水銀の問題、ソフトコンタクトレンズなどのプラスティックごみの海洋汚染の問題、PFAS(有機フッ素化合物)の問題など多岐にわたり松島名誉教授や浜松市の担当職員からご講演をいただき必要な情報を会員の先生に提供してきました。

特に2017年水俣条約発効前に医療機関にある、水銀血圧計や水銀体温計などの処分について問題となりました。水銀の処理は、硫化・固形化し、固形化したものを遮断型又は管理型

最終処分場に埋立処分する必要があり、これができるのが北海道北見市にある野村興産株式会社、イトムカ鉱業所でした。そのため水銀血圧計1個処分するのに運搬料が高いため数万円という見積となっていました。そこで2016年1月各医師会事務所に各医院の水銀計や水銀体温計を持ち込んでもらい、一括処分をすることで廃棄代を大幅に軽減するといった取り組みを行いました。水銀体温計は1本につき1,000円、水銀血圧計は1個につき2,500円の価格で、中遠環境保全という収集運搬業者に依頼して処分してもらいました。この取り組みは静岡県医師会が主導して行いましたが、業者の選定は産廃監視機構からの情報を受けて行っており、全国でも先進的な取り組みとなりました。

4. 活動を振り返って

産廃監視機構が立ち上がる前は、医療機関から出る産業廃棄物について全くと言っていいほど分かっていませんでした。しかし市町を超えて県西部7医師会で情報収集、勉強することで医療機関が知っておかなければならぬ産廃に関する事について情報提供ができたと考えています。そのおかげをもって静岡県西部地区において静岡県医師会電子マニフェスト管理システム普及率は2016年には88%となり、県東部および中部よりも10~20%高い普及率となりました。2025年の最終集計では、静岡県医師会電子マニフェスト管理システムの利用率をもって電子化率に変えますが、94%となっています。静岡県医師会電子マニフェスト管理システムを利用していないが、電子化している医療機関もあるので、電子化率はこれよりもさらに高いと考えられます。

また会議を通して感染性廃棄物以外の環境汚染に関する事件にも目が向けられるようになったと考えられました。こうした情報を提供していただいた松島教授に感謝申し上げます。

5. 今後への提言・展望

いまだ電子化していない医療機関への情報提供は引き続き必要かもしれません、この取り組みを20年続け、産廃監視機構役員会の活動は一段落終えたと考えております。今後新たな産廃事件が起きた際には活動再開するつもりでおります。もし我々が高齢で活動できなければ、若い先生に託したいと思いますので、その時はよろしくお願いします。

表1. 産廃監視機構に参加した役員について

長年にわたり産廃監視機構役員の責務をはたしていただき感謝申し上げます。（敬称略）

磐田市	磐周	小笠	引佐	浜名	浜北	浜松	スーパー バイザー
山崎 晃	石坂恭一	増山 克	金子 寛	長尾文之助	石井廣重	永田豊文	松島 肇
北原 大文	三橋 孝	森岡庫一			鈴木 敬	兼子周一	
	藤井 一彦				西坂米昭	畠山眞行	
					岡田雅仁		
					桜町俊二		

西坂整形外科 西坂米昭先生（1948/8/26 生）喜寿御祝



（西坂整形外科 柔道場で撮影）

西坂先生は、過去に医師の柔道大会で全国2位の成績を収め、現在は五段という武道の精神をお持ちです。

先生は、普段リハビリなどで使用している柔道場を、災害時には避難所として地域の方に提供することを想定されており、多くのコンセントを設置されていました。

さらに、柔道場の屋上には太陽光発電パネルと蓄電池を設け、約1週間電力が貯えるようにしているとのこと。その他にも多くの備蓄をされていると伺いました。

柔道の鍛錬で培われた先生の献身的なご奉仕の精神と、地域への深い思いやりに深く敬服し、頭が下がる思いです。

77歳になられても現役で診療を続けておられる大変お元気な西坂先生にお話を伺いました。

この度は、お祝いのお花を頂戴し、誠にありがとうございます。

私の健康の秘訣は、長年続いている柔道の稽古にあります。自院の柔道場にて、日々受け身を中心に行ってています。

今後ともどうぞよろしくお願ひします。

西坂米昭

お知らせ

<勉強会> 12月は休会です。

令和8年1月21日（水）午後7時15分～9時00分

※ライブ配信（要事前申込）及び浜松市浜北医師会会議室
司会 杉本昌宏 先生

講演「認知症診療 Up date」

講師：聖隸浜松病院 認知症先進ケアセンター副センター長

脳卒中センター長 近土善行 先生

生涯教育取得単位：1.5 カリキュラムコード：29 (1.5)

(共催 エーザイ株式会社)

令和8年2月18日（水）午後7時15分～9時00分

※ライブ配信（要事前申込）及び浜松市浜北医師会会議室
司会 浦野哲盟 先生

講演「肺炎診療のポイント－日常診療での考え方－」

講師：独立行政法人国立病院機構天竜病院 副院長 中村祐太郎 先生

生涯教育取得単位：1.5 カリキュラムコード：45 (1.5)

(共催 杏林製薬株式会社)

＜産業医研修会＞

※要事前申込 2/10（火）〆切 （浜北医発第181号）

◎令和8年2月13日（金）午後7時00分～9時00分

※浜松市浜北医師会会議室

「外国人労働者の健康管理の実際と事例検討」

講師：ヤマハ発動機株式会社 統括産業医 内野文吾 先生

【基礎－実地2単位／生涯－実地2単位】CC：11（申請中）

定員 30名

<在宅医療多職種交流会>

日時 令和8年1月17日（土）午後2時～5時

場所 ビラックス高蔵

内容

第一部 研修会（14：00～）

身寄りのない方の支援を考える（事例紹介及びグループワーク）

第二部 懇親会（16：00～）

★11月17日、開催通知を送付いたしました。

<医師会と地区社協との連携研修会>

～認知症サポート医交流促進事業として実施～

日時 令和8年2月7日（土）午後2時～4時

場所 ビラックス高蔵

内容 テーマ「地域の資源を知り、誰もが安心して暮らせるまちにしよう」

地区社協の活動状況

（1）「家事支援事業・移動支援事業」支え合いのしくみについて

（2）「買物支援事業」の状況について

認知症の方や家族（介護者）の現状とその支援

（1）地域包括支援センターより

（2）浜松市の取組について

★12月16日、開催通知を送付いたしました。

<三師会ゴルフコンペ>



優勝 小林正人先生

次回 医師会ゴルフコンペ

令和8年3月8日（日）8：56スタート

葛城 宇刈コース 3組

◇がん検診二次読影委員会

(結核肺がん検診)

1 1月	4 日(水)	於：浜北医師会読影室	佐藤（浜松赤十字病院）
	7 日(金)	於：浜北医師会読影室	近藤（り）
	1 1日(火)	於：浜北医師会読影室	岸本（肇）
	1 8日(火)	於：浜北医師会読影室	岸本（祐）
	2 1日(金)	於：浜北医師会読影室	白井
	2 7日(木)	於：浜北医師会読影室	中野（浜松赤十字病院）

(胃がん検診)

1 1月	4 日(火)	於：浜北医師会読影室	中川／吉田（賢）
	1 1日(火)	於：浜北医師会読影室	鈴木（崇）
	1 2日(水)	於：浜北医師会読影室	永橋
	1 7日(月)	於：浜北医師会読影室	伊藤（浜松赤十字病院）
	2 0日(木)	於：浜北医師会読影室	曾根田／櫻町
	2 5日(火)	於：浜北医師会読影室	上野山（あたご診療所）
	2 7日(木)	於：浜北医師会読影室	井坂（十全記念病院）
	2 8日(金)	於：浜北医師会読影室	金子（望）

(乳がん検診)

1 1月	6 日(木)	於：浜北医師会読影室	清野
	1 3日(木)	於：浜北医師会読影室	三橋
	2 0日(木)	於：浜北医師会読影室	柄久保（とちくぼ乳腺クリニック）
	2 8日(金)	於：浜北医師会読影室	池谷

◎二次読影日の変更について

二次読影は、期限内にご提出いただいた場合でも、一次読影医師と二次読影医師が重なったり、読影医師の都合により日程を変更させていただくことがあります。

◇令和7年12月・令和8年1月在宅医表

月	日	日・祝	在 宅 医
12	7	日	山下クリニック 岡田整形外科
	14	日	かわい内科消化器科 キブネ眼科医院
	21	日	岸本内科クリニック さわ消化器内視鏡クリニック
	28	日	金城こどもクリニック おおや整形外科
	30	年末	近藤内科医院 石井第一産科婦人科クリニック
	31	年末	やわたの森こどもクリニック 十全記念病院
1	1	年始	ひかり在宅医療クリニック 浜北院 松尾形成外科・眼瞼クリニック
	2	年始	西遠クリニック 河合クリニック
	3	年始	浜名クリニック さとうクリニック
	4	日	遠江病院 吉田クリニック
	11	日	岸本内科クリニック 桜町クリニック
	12	祝	こう痛み内科クリニック 内山眼科クリニック
	18	日	近藤内科医院 さとうクリニック
	25	日	浜北さくら台病院 横田整形外科

・市が指定した年末年始における発熱外来（休日在宅当番医）については、
浜松市HPに掲載されます。（最終確定は休・祝日の3日前となります）

◇令和7年11月 休・祝日時間外受診者報告

	浜松市民（人）	他市民（人）
休・祝日	695	43
時間外	169	27
計	864	70

*市へ報告する都合上、提出期限（毎月5日）は厳守してください。

◇現在の会員数（令和7年12月1日現在）

A会員	54名
A'会員	13名
B会員	56名
合計	123名

事務局からのお知らせ

◎日本医師会 FAX ニュース URL について

【日医 FAX ニュース】URL

https://www.med.or.jp/japanese/members/news/netnews/n_index.html

※閲覧には ID とパスワードが必要です。

◎「会員のひろば」について

会報内「会員のひろば」への記事掲載について、会員の皆様から広く募集しています。写真、絵画、エッセイ、俳句・・などなど、ぜひご投稿をお願いします。

◎非通知の着信拒否について

医師会事務局の電話について、不審者からの着信が度々あることから、「番号非通知の着信について、着信を拒否」する設定にしております。

医師会事務局に電話を掛ける際はご注意くださいようお願い申し上げます。

◎医師会事業に対する要望の募集について

会員からの意見を反映させることを目的に、医師会事業に対する要望（新規事業の提案、または中止希望の事業）を募集しております。ご提案のある方は事務局までご連絡ください。

なお、予算立案の都合上、来年度の事業に反映させるためには、原則毎年 8 月末までにご提案くださいようお願い申し上げます。

開業相談委員会は、毎月第4水曜日に開催しております。

ご相談のある方は、相談日の前月の末日までに事務局までご連絡ください。

（予約制）

新規開業予定の先生は、土地購入並びに賃貸契約される前に開業相談にお越しください。

また、現在開業中の先生でも増床等をされる場合には、開業相談をお受けください。



会員のひろば



赤ちゃんフォトコンテストが開催されました

11月30日(日)、プレ葉ウォーク浜北2階センターコート特設会場にて「子育て応援フェス2025 表彰式」が開催されました。今年は、これまでと変わり、この事業にご協力いただいた先生方からの協賛金をもとに、様々な名称の賞が授与されました。その中で、浜北医師会長はこちらの作品となりました。



浜北医師会長賞 「夏のお嬢さん」

表彰式では、開会にあたり、高倉英博少子化対策部会長よりご挨拶があり、その後は聖隸クリストファー大学の学生による司会進行のもと、メンタルクリニック・ダダの大嶋正浩先生と友愛のさと診療所の石垣英俊先生によるミニセミナー「“ちょっと気になる”が育ちのサインかも？」が行われました。会場では子育て中のパパ・ママから多くの質問が寄せられ、日々の子育てに役立つお話がたくさん共有されました。

続いて行われた「赤ちゃんフォトコンテスト表彰式」には、中野祐介市長がご出席くださいました。

第9回となる今年は、写真だけでなく「子育て川柳」にも多数の応募があり、受賞者の中には京都在住の方もいらっしゃいました。

会場は、パパやママの笑顔が飛び交う、にぎやかで温かい雰囲気に包まれ、子育てを応援するイベントとして大変盛況のうちに終了しました。



パパ・ママの質間に応答される大嶋先生と石垣先生



高倉英博先生



河合 俊先生



応募された写真 203 点や川柳 73 点はプレ葉ウォーク浜北 2 階特設会場に飾られ、入場者の目を楽しませておりました。

市民公開講座を開催しました

11月30日は人生会議の日です。

例年開催している市民公開講座を11月29日（土）午後2時から、はまきたプラザホテルで開催し、市民など合わせて63名が参加されました。

当日は岸本会長のご挨拶の後、杉本昌宏先生の「脳疾患のACP」のご講演があり、浜松医科大学医学部附属病院看護師長の高田なおみ氏からは人生会議手帳の説明の後、参加者全員で「もしバナゲーム」を体験しました。

また、全体の司会進行は大村久美子先生が担ってくださいました。

アンケートでは、「大変貴重な体験だった」「いつの時でも、私は私らしく生きていきたいと感じた」など、参加者の多くに満足頂いた研修会となりました。



講師の杉本先生と高田氏



4人1組で行うもしバナゲーム
皆さん、熱心かつ真剣に取り組みました



岸本会長、大村久美子先生、杉本先生



櫻町先生は市民の輪に入りゲームに参加しました

令和7年11月分 診療状況報告

浜松赤十字病院

(1) 病床 312床 (開放型病床 50 床)

(2) 令和7年11月分診療状況

	延べ数	1日平均
入院	7,337人	244.6人
外来	6,677人	370.9人

(3) 開放型病院共同指導回数 (浜北医師会分)

	医師実人数	延回数
令和7年11月	2人	20回
令和6年11月 (前年 同月)	2人	32回

(4) 開放型病院共同指導回数 (当院実績)

	医師実人数	延回数
令和7年11月	2人	20回
令和6年11月 (前年 同月)	2人	32回

(5) 病診連携室取扱件数

	①紹介受付件数 診療所・病院 病院	②逆紹介(加算)件数 病院 診療所他算定	逆紹介割合 ② / ①
令和7年10月	591	602	101.9%
令和6年10月 (前年 同月)	664	686	103.3%

浜松赤十字病院ホームページ

外来担当医一覧

<http://www.hamamatsu.jrc.or.jp/guidance/outpatient202006/>



浜松市感染症発生動向調査（2025年第49週）

浜松市感染症情報センター
2025年12月10日現在

浜松市感染症発生動向調査週報

2025年第49週(2025年12月1日～2025年12月7日)

インフルエンザの警報が継続しています。前週までと同様に20歳未満で特に多く報告されています。
例年の傾向では、これから年末にかけて新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎の報告数も増加しますので、うがい、手洗い、換気、マスクの着用など、基本的な感染対策を引き続きお願いします。
また、年末年始に海外へ渡航される予定の方は、渡航先の感染症情報の収集や予防接種等の事前準備をお願いします。

1. 定点把握感染症

① 報告数及び流行状況

定点区分 (市内定点数)	感染症名	前週から の増減		浜松市					静岡県 第49週	警報基準値
				第49週	警報・注意報	第48週	第47週	2025年累計		
急性 呼吸器 感染症 (28)	急性呼吸器感染症(ARI)*	↑	報告数	1,780		1,764	2,075	45,622	9,508	
			定点当り	63,57		63,00	74,11		68,40	
	インフルエンザ	↑	報告数	1,136	警報	974	1,086	8,918	5,462	開始:30, 終息:10 (注意報:10)
小児科 (18)	新型コロナウイルス感染症	↓	報告数	14	発令なし	20	24	3,779	158	警報レベル:14 注意報レベル:7
			定点当り	0,50		0,71	0,86		1,14	
	RSウイルス感染症	↓	報告数	12		15	14	746	38	
			定点当り	0,67		0,83	0,78		0,43	
眼科 (3)	咽頭結膜熱	→	報告数	2	発令なし	2	1	140	19	開始:3, 終息:1
			定点当り	0,11		0,11	0,06		0,21	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	報告数	30	発令なし	20	21	837	144	開始:8, 終息:4
			定点当り	1,67		1,11	1,17		1,62	
	感染性胃腸炎	↑	報告数	77	発令なし	54	101	4,795	311	開始:20, 終息:12
			定点当り	4,28		3,00	5,61		3,49	
	水痘	↓	報告数	1	発令なし	5	5	112	17	開始:2, 終息:1 (注意報:1)
			定点当り	0,06		0,28	0,28		0,19	
	手足口病	→	報告数	0	発令なし	0	0	74	1	開始:5, 終息:2
			定点当り	0,00		0,00	0,00		0,01	
基幹 (2)	伝染性紅斑	↓	報告数	1	発令なし	8	4	1,483	32	開始:2, 終息:1
			定点当り	0,06		0,44	0,22		0,36	
	突発性発しん	↑	報告数	5		2	3	196	22	
			定点当り	0,28		0,11	0,17		0,25	
	ヘルパンギーナ	↑	報告数	1	発令なし	0	0	310	1	開始:6, 終息:2
			定点当り	0,06		0,00	0,00		0,01	
	流行性耳下腺炎	↑	報告数	2	発令なし	1	0	40	5	開始:6, 終息:2 (注意報:3)
			定点当り	0,11		0,06	0,00		0,06	
急性 呼吸器 感染症 (28)	急性出血性結膜炎	→	報告数	0	発令なし	0	0	0	0	開始:1, 終息:0,1
			定点当り	0,00		0,00	0,00		0,00	
基幹 (2)	流行性角結膜炎	↑	報告数	1	発令なし	0	1	144	13	開始:8, 終息:4
			定点当り	0,33		0,00	0,33		0,59	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)	→	報告数	0		0	0	0	0	
			定点当り	0,00		0,00	0,00		0,00	
	クラミジア肺炎	→	報告数	0		0	0	0	0	
基幹 (2)	細菌性髄膜炎	↓	報告数	0		1	0	2	0	
			定点当り	0,00		0,50	0,00		0,00	
	無菌性髄膜炎	→	報告数	0		0	0	1	0	
			定点当り	0,00		0,00	0,00		0,00	
	マイコプラズマ肺炎	↓	報告数	0		1	1	44	7	
			定点当り	0,00		0,50	0,50		0,70	

*急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から定点把握に指定されたため、累計は第15週以降を対象とする。

全数把握感染症報告数（浜松市）2025年12月10日現在

類型	感染症名	第49週	累計
一類感染症	(報告なし)	0	0
二類感染症	結核	1	85
三類感染症	細菌性赤痢	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	0	11
四類感染症	E型肝炎	0	4
	A型肝炎	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	3
	チクングニア熱	0	0
	つつが虫病	0	0
	デング熱	0	2
	日本紅斑熱	0	2
	レジオネラ症	1	26
五類感染症	アメーバ赤痢	0	3
	ウイルス性肝炎	0	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	2
	急性弛緩性麻痺	0	0
	急性脳炎	3	18
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	6
	後天性免疫不全症候群	0	7
	ジアルジア症	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	26
	水痘(入院例)	0	6
	梅毒	0	101
	播種性クリプトコックス症	0	2
	破傷風	0	0
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0
	百日咳	11	565
	風しん	0	0
	麻しん	0	1

※過去に報告のあった感染症を中心に抜粋

詳細や過去データは浜松市感染症情報センターに掲載されています

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hokanken/idwr/index.html>



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

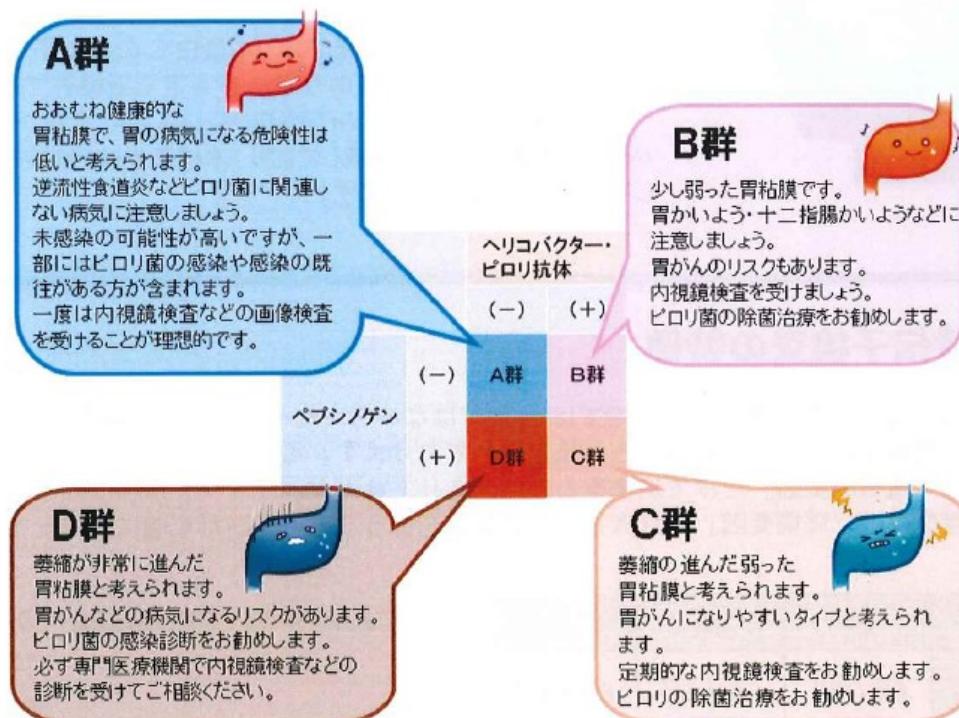
 第一三共株式会社
Daiichi-Sankyo

ABC分類(胃がんリスク層別化検査)

血液で実施出来ることで胃がん検診受診のハードルを下げるとともに、
その結果の分かり易さが、精密検査受診勧奨に大きく貢献します！

ABC分類(胃がんリスク層別化検査)とは…

胃粘膜萎縮マーカーのペプシノゲン検査と、胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃がんの主な原因と考えられているヘルコバクター・ピロリの抗体検査を組み合わせて、胃の健康度をA, B, C, Dで分類するのがABC分類です。胃の健康度に応じて内視鏡検査による精密検査を行う等、効率的に検診を行う方法です。



ABC分類判定対象外

E群

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定の対象にはなりません。
除菌判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として定期的に内視鏡検査を受けましょう。

除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありませんので、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

《この検査に不適な方》

- ピロリ菌の除菌治療を受けた方
- 明らかな上部消化器症状のある方
- プロトンポンプ阻害剤服用中の方
- 上部消化管疾患治療中の方
- 胃切除後の方
- 腎不全の方

《検査要項》

資料提供: 栄研化学株式会社

コード	項目名稱	判断料 実施料	採取量	採取容器	保存	検査方法	所要日数
セット 0195	ABC分類 (除菌なし)	なし	血液 3.0 mL 血清 0.6 mL	01 21	冷蔵	ヘルコバクター・ピロリ ELISA ペプシノゲン ラテックス凝集法	2~6 日
セット 0196	ABC分類 除菌有	なし					

* ヘルコバクター・ピロリ菌の除菌を受けた方は、「ABC 分類 除菌有」を選択してください。

ApoE遺伝子検査

ApoE 遺伝子検査とは？



認知症の種類と原因は様々ですが、日本ではアルツハイマー型認知症がその半数以上を占めるとされています。アルツハイマー型認知症はアミロイドベータペプチドという老廃物が脳内に蓄積し、神経細胞がダメージを受けることで発症します。

ApoE 遺伝子検査はアミロイドベータペプチドの蓄積や凝集に関わるといわれているアポリポ蛋白 E の遺伝子タイプを解析することで、認知症のリスクを判定する検査です。

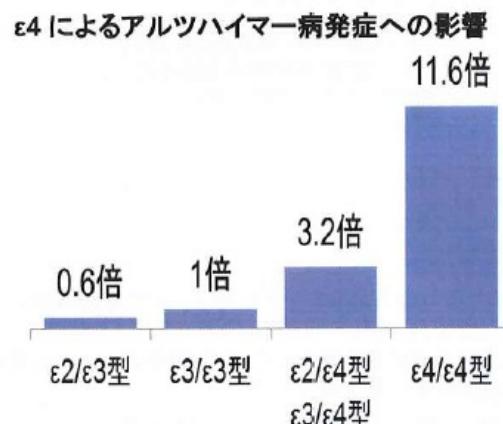
ApoE の遺伝子型は ϵ (イプシロン)2、 ϵ 3、 ϵ 4 が 2 つ一組で 6 パターンの遺伝子型を構成しており、本検査ではどのタイプに属しているかを判定しています。

ApoE 遺伝子検査の特徴

ϵ 4 型の遺伝子型を有している方では ϵ 4 型ではない方に比べて 3~12 倍程度のアルツハイマー型認知症のリスクがあることが報告されております。もちろん、アルツハイマー病の発症は「遺伝的要因」だけで決まるものではありませんが、リスクを事前に知り、食事や運動習慣など「環境要因」を意識した生活習慣を行うことで予防が可能になります。

	ϵ 4	ϵ 3	ϵ 2
ϵ 4	ϵ 4 / ϵ 4 (1%)	ϵ 4 / ϵ 3 (21%)	ϵ 4 / ϵ 2 (5%)
ϵ 3	ϵ 4 / ϵ 3 (21%)	ϵ 3 / ϵ 3 (60%)	ϵ 3 / ϵ 2 (12%)
ϵ 2	ϵ 4 / ϵ 2 (5%)	ϵ 3 / ϵ 2 (12%)	ϵ 2 / ϵ 2 (1%)

※()内は日本人の推計保有割合



ApoE 遺伝子検査で遺伝的な認知症のリスクを知り、適切な予防を行うことが、認知症の予防へつながります。

検査委託先・資料提供:NKメディコ

《 検査要項 》

コード	項目名称	測定料実施料	採取量	採取容器	保存	検査方法	所要日数
4341	ApoE遺伝子検査	なし	血液 5.0 mL	専用容器	冷蔵	DNAチップ法	25 日程度

発災直後会員の先生にお願いすること

1. 浜松市内で震度6弱が観測されたら市から安否確認システムメールが送られてくるので、回答する
2. 回答を終えたら、医師会から要請メールが来るまで待機（持ち物準備：ベスト・ヘルメット・水・診療に必要なもの・筆記用具等）
3. 要請メールがきたら、必要なものを持って日赤2階研修ホールに行く

◎浜名区内（浜北）の救護所は浜松赤十字病院です

<救護所>トリアージ2名・診療2名・処置2名

※各地区の救護所は、必要に応じて開設いたします。

※応急救護所のトリアージはSTART法で行います。

会員の先生方の診療・処置は緑ブースの患者のみです。

（トリアージで黄・赤タグの患者は浜松赤十字病院内に搬送します）

参考については、安否確認システムの指示に従ってください。

～会員の先生方の回答がたいへん重要になります。

回答へのご協力お願いいたします～